

# 授業時間外のディスカッションで 深まる理解と高まる学習意欲

～ Moodle「フォーラム」を利用して  
見えてきた学生の授業時間外学習～

## Moodle を導入したきっかけ

私はグループワークを中心とした「ワークショップ型」の授業を取り入れています。前年度、教育企画室で実施している授業コンサルティングを通じて、学生から「授業時間外にグループでの連絡や相談をするために、ぜひ Moodle を導入して欲しい」という意見が出たことがきっかけで導入を決めました。それまでは、Moodle というものを全く知らず、「Moodle って何だろう」というところからスタートしました。

## 授業時間外学習の促進と、 グループ内外での情報共有

私は、Moodle の「フォーラム」という機能を利用していますが、2つの使い方があると思っています。一つは、学生から提案があったように、授業時間外のグループ内での連絡手段です。授業では学生を 12 班のグループに分けており、グループごとに「フォーラム」を作成しています。そのフォーラム内で、グループ内での授業時間外の情報共有が行われています。



授業風景

もう一つは、ワークショップの成果発表です。授業中にグループ別の発表を行います。全てのグループは発表できません。そこで、授業中に発表できなかったグループの成果をアップ

し、共有することにも活用しています。グループ内での情報共有はもちろんですが、グループを超えた様々な考え方をすることも大切だと考えています。

## IT が苦手な私でも、 Moodle を使うことができました

最初は、Moodle を利用してどんな事ができるのか想像もつかず、とても不安でした。しかし、教育デザイン室に相談すると、Moodle の事を全く知らない私にも丁寧に教えてくれました。実際に使ってみると、思っていたほど



Moodle 操作方法の説明

難しい操作はなく、かなり IT が苦手な私でも操作することができました。Moodle は、私のように初歩的な機能を使っただけでも、効果があると思います。「食わず嫌いになってはいけないな」と感じました。

## 授業時間外学習の可視化

グループによって利用頻度の差はありますが、ディベートやプレゼン準備のため活発に利用されています。この授業を通して、授業時間外学習の大切さを示せたのではないかと考えています。

また、今まで私の目から見えていなかった、学生の授業時間外学習の様子が見えるようになったと思います。例年と比べ、授業時間外学習にかかる時間も増え



実際のディスカッション画面



学生自身が  
「学習意欲の変化」  
を実感

法文学部総合政策学科ガバガバ外講座国際法システム  
檜林 建司 教授

ているように感じますね。本当に、「やってよかった」と言えます。

## 今後も積極的に Moodle を活用していきたいです

ワークショップ型だけではなく、講義型の授業においても Moodle を活用したいと考えています。例えば、教員が提示したテーマに対して、学生に Moodle 上でディスカッションを行ってほしいです。また、授業の振り返りを Moodle 上で行うなどの活用方法を考えています。



学生の操作風景

今後、150 人規模の授業も担当しますが、一方通行の授業にはしたくないと思っています。授業中に発言ができなかった学生の意見も Moodle で提出してもらい、教員を通して紹介するなどの取り組みも行いたいと考えています。

## 学習意欲を引き出すきっかけ作り

教員が授業中に提供できるメッセージには限界があります。やはり、授業時間外に学生がどれだけ前向きに勉強しているかがとても大事だと考えています。

そういった学習意欲を引き出すきっかけとして、Moodle の活用の幅を少しずつ広げていきたいですね。授業時間外学習の成果を Moodle を通して発表すると、成績に加点するなど利用促進についても工夫していきたいと思っています。

## 教育デザイン室に期待すること

小さな事でも良いので、授業改善に役立つ情報を教えてほしいです。様々なアイデアの提供はもちろん、教員同士のアイデア交換の場の仲介なども行ってもらえると嬉しいです。

## 学生の声

◆Moodle 上で情報共有をすることで、他の学生がどのような考えを持っているかを知り、違う視点を学ぶことができました。(2 回生・男子学生)◆プレゼン準備の際、Moodle 上で連絡や相談をすることで班員一人ひとりの考えがブレず、主張を一貫してプレゼンを行うことができました。また、授業時間外に学習する機会が予習や復習にも繋がるため、授業へ臨む姿勢が変わり、理解が深まりました。(2 回生・女子学生)

